

一般質問通告書(平成 21 年 12 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 2番 村上 和子 1 新年度予算編成の過程に、町民参画での事業仕分けをしてはどうか (町 長)</p>	<p>1 国の行政刷新会議(事業仕分け)がなされたが、上富良野町としても、新年度予算について編成過程の中に、町民公募・参加して事業仕分け作業をしてはどうか。自治基本条例が策定され、協働のまちづくりを推進していく上においても、透明性が図られ、協働の意欲が湧いてくるものと考えられるがいかがか。</p> <p>2 国の事業仕分けによって、廃止・削減・見直し等、仕分けられた項目が数多くあり、これらの中に町で実施している介護予防事業・下水道事業・放課後子供プラン・基地周辺対策交付金等も入っているが、これらによって町として今後の事業展開の見直しと予算編成の手法を考える必要があるのではないか。</p>
<p>2 通学区域を撤廃し、保護者の希望により学校を選択できないか (教育長)</p>	<p>過日、東中中学校開校60周年記念式典が開かれ、全校生徒が取り組む伝統芸能、清流獅子舞が披露された。この東中中学校は在校生が15名であるが、他の中学校、小学校の生徒数は何名になっているのか。江幌小学校は特認校となっており、通学区域は広域になっている。通学区域制度は長年改正されていないが、生徒数も減少してきている中において、通学区域を保護者の希望により学校を選択できるようにしてはどうか。</p>
<p>3 来春、上富良野高校卒業予定者の就職内定の状況は (教育長)</p>	<p>不況の煽りをうけ、来春、高校卒業予定者の就職内定率が、全国では37%過去最低という報道がある。上富良野高校は本年度「就職指導の改善に関する研究指定校」に選ばれたが、富良野・美瑛地方の5高校と、どのような就職対策が話し合われたのか。地元及び他町村からの求人と就職内定状況はどのようなになっているのか。</p>
<p>2 12番 佐川 典子 1 情報公開制度にもとづくホームページの充実について (町 長)</p>	<p>「知る権利」は、民主主義政治の理念であり、情報公開制度は自治体にも義務付けられている。情報を共有する権利は、住民と行政の信頼関係に直結するテーマである。「開かれた情報提供と情報共有は、上富良野町自治基本条例の第2章「まちづくりの基本原則」の第4条と、第6章「信頼される町政の推進」の第24条から第27条に規定されている。」行政の持つ情報を町民のニーズに的確に答えるようなスピーディな情報公開が望まれる昨今であり、ホームページの充実についてどのように対処しているのか、その現況や計画があれば伺いたい。また、町民モニター制度を取り入れてはどうか。</p>

<p>2 まちづくりにおけるボランティアの重要性について (町長)</p>	<p>少子高齢化や核家族化また経済不安や地球温暖化など、社会情勢は刻々と多様な変化を遂げ、地方レベルにおいて行政主導のまちづくりから脱却し、地方分権を軸に町民自ら考え行動するまちづくりに転化していくと思われる。我が町にも「自治基本条例」が施行され、今までとは違うまちづくりが行われようとしている。その様な中、昔ながらの“地域力”の低下を下支えする『ボランティア』の存在は今後、益々期待され、必要性和重要性を担う事になる。そこで様々なニーズに答えるべく、ボランティア人口を増やすための新たな施策や、福祉重視にとどまらないボランティア推進を計るための新しい体制づくりやバックアップ的な行政の関わりなど、具体的な施策があれば伺いたい。</p>
<p>3 わが町の環境教育の現況と実行計画について (教育長)</p>	<p>“記憶にない”ほどの気候の変動で12月に入ってもスキー場がオープンできないなど、私達の日々の暮らしに温暖化の影響が出てきている事は、誰もが実感している。地球規模で起こっている変化と、私達ができ得る(省エネ化)など教育の場で正しい知識を学んでいただきたいと思うのは、大人としての願いであり、みんなの命にも関わってくる重要な課題である。各学校において、それぞれの学習はなされていると思うが、上富良野町の教育の現場としての環境教育に対するスタンスと実行計画について、またテーマなどがあれば伺いたい。</p>
<p>3 6番 今村 辰義 1 定住・移住施策のためにも税・使用料の改善やPRを (町長)</p>	<p>第5次総合計画によると、まちの目標人口は、平成30年度で11,900人。毎年40人の移住・定住を確保することによって達成できるとなっている。日々努力されていると思うが、現状はいかがかと思料している。</p> <p>上富良野町には自衛隊があり、独身者が大勢いる。町外出身者も多いが、今はれっきとした上富良野町の町民であり、町内に住み、町に愛着を持って暮らしている。彼(女)らが結婚してこの町に住んでくれれば良いが、中には、町外に居を構える人もいる。このまちで勤務する彼(女)らを町外から通勤させることは定住・移住施策の目的を考えるまでもなく、非常にまちにとって損失である。結婚して町内に住んでくれることによる二重・三重の効果も不意になる。</p> <p>その彼(女)らや親たちが上富良野町に住みたくない、住まわせたくないとしている理由の1つは、国保税や下水道使用料が近隣市町と比べ高いと考えていることである。</p> <p>そこで国保税や下水道使用料が近隣市町と比べてどうなのか、また、高いのであれば住むことによる費用対効果を考慮してできる限り改善すべきであり、認識不足による勘違いをしているのであれば、その意識是正のPRに努める、そういったことが定住・移住施策にとって重要であり、全町民のためにもなると思うがいかがか。町長の考えを伺いたい。</p>

<p>4 7番 一色 美秀 1 障がい者支援事業について (町 長)</p>	<p>「障がい者の地域生活と就労を考える親の会」が障がい者の就労の場として、町内に通所事務所の開設を計画しているが、その対応はいかなものか。進行状況を伺いたい。</p>																												
<p>2 空き店舗対策について (町 長)</p>	<p>旧大通り商店街において、空き地、空き店舗が目立つ現状であるが、個人又は各種団体が利用を希望した場合、借地料、家賃の一部負担も含めて、行政としてどの程度の係わりができるのか。その見解を伺いたい。</p>																												
<p>5 9番 中村 有秀 1 非常勤消防団員の年額報酬及び 出勤手当について (町 長)</p>	<p>各々の市町村の消防署、消防団には積み重ねられた歴史があり、上富良野消防団も私設消防組の創設から 88 年の歴史を刻んできた。</p> <p>昭和 45 年 12 月 1 日に上川南部消防事務組合、昭和 49 年 4 月 1 日に富良野地区消防組合が各々設立された。</p> <p>平成 20 年 9 月 1 日に富良野広域連合が設立され、平成 21 年 4 月 1 日から事務事業が開始となり、消防に関する事務も広域連合として推進しているが、消防団に関する経費については、各市町村の自賄分となっているが、広域連合の設立目的と同一圏内の消防団のあり方として、年額報酬及び出勤手当について下記について町長の所見を伺う。</p> <p>1、年額報酬について</p> <p>富良野広域連合消防団員の定員、任免、服務等に関する条例第 9 条別表 1 報酬について、富良野消防団、南富良野消防団、占冠消防団の団長年額報酬は 138,000 円(全道第 5 番目)で、上富良野消防団、中富良野消防団の団長年額報酬は 192,000 円(全道第 1 番目)で、その差は 54,000 円ある。</p> <p>各階級の年額報酬とその差額を見ると</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="779 1074 2024 1437"> <thead> <tr> <th></th> <th>旧富良野地区</th> <th>旧上川南部</th> <th>差 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>副 団 長</td> <td>102,000</td> <td>156,000</td> <td>54,000</td> </tr> <tr> <td>分 団 長</td> <td>84,000</td> <td>108,000</td> <td>24,000</td> </tr> <tr> <td>副分団長</td> <td>60,000</td> <td>96,000</td> <td>36,000</td> </tr> <tr> <td>部 長</td> <td>54,000</td> <td>75,600</td> <td>21,600</td> </tr> <tr> <td>班 長</td> <td>48,000</td> <td>69,600</td> <td>21,600</td> </tr> <tr> <td>団 員</td> <td>42,000</td> <td>66,000</td> <td>24,000</td> </tr> </tbody> </table>		旧富良野地区	旧上川南部	差 額	副 団 長	102,000	156,000	54,000	分 団 長	84,000	108,000	24,000	副分団長	60,000	96,000	36,000	部 長	54,000	75,600	21,600	班 長	48,000	69,600	21,600	団 員	42,000	66,000	24,000
	旧富良野地区	旧上川南部	差 額																										
副 団 長	102,000	156,000	54,000																										
分 団 長	84,000	108,000	24,000																										
副分団長	60,000	96,000	36,000																										
部 長	54,000	75,600	21,600																										
班 長	48,000	69,600	21,600																										
団 員	42,000	66,000	24,000																										

広域連合設立に際し、旧富良野地区消防組合と旧上川南部事務組合の年額報酬がそのまま条例化されたものであるが、上富良野町の団員数と十勝岳関係もあるが、年額報酬が全道で1番高額であり、2番は士別地方消防事務組合で団長156,000円、副団長120,000円、分団長96,000円、副分団長84,000円、部長72,000円、班長60,000円、団員48,000円であり、旧上川南部がいかに突出していることがわかる。

また、本年10月に北海道総務部危機対策局防災消防課への照会の非常勤消防団員の報酬について下記のとおり回答があった。

非常勤消防団員の報酬

(単位：円)

区 分	報 酬 年 額						
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
全道平均	90,766	68,874	52,891	44,031	40,947	33,056	30,049
最 高 額	192,000	156,000	108,000	96,000	75,600	69,600	66,000
最 低 額	65,700	46,000	34,000	22,000	17,000	17,000	16,000
平成18年度交付金措置額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,000

消防団員の年額報酬については、全道的な状況と広域連合の設立目的と同一圏内の消防団員報酬について検討すべきであり、また、自賄いということで平成22年度の広域連合の予算の関係で条例改正も視野に入れた段階的削減の考えを伺う。

2、出動手当について

富良野広域連合の定員、任免、服務等に関する条例第11条別表2費用弁償については、出動種類毎に出動手当額が定められているが、これも旧富良野地区消防組合と旧上川南部消防組合の出動手当額が広域連合として条例化されたが、火災、風水害等の出動では1回4,500円と6,000円で1,500円の差があり、訓練は同額の1日5,000円、警戒では1日4,500円と5,000円で500円の差がある。

また、北海道総務部危機対策局防災消防課にこの点も照会したら下記のとおり回答があった。

非常勤消防団員の出動手当平均額

(単位：円)

区 分	出 動 手 当 (1 回 あ た り)				
	火災	風水害	警戒	訓練	その他
全道平均	4,596	4,522	4,016	4,019	2,993
最高額	9,000	7,000	7,000	7,000	7,300
最低額	2,000	2,000	1,600	2,000	1,000
平成 18 年度交付金措置額	7,000	7,000	7,000	7,000	

団員の出動手当についても、従来の経過もあり、また、各市町村の自賄分として理解しているが、団員の年額報酬と同様に見直すべきであり、自賄分の予算と条例改正を検討すべきである。

6 5 番 米沢 義英

1 障がい者の就労支援について
(町長)

町内の障がいがある子供の親たちでつくる「障がい者の地域生活を考える親の会」では、地域で生きがいを持って働き、暮せる就労の場として、来春に通所事業所の開設を計画していますが、今後の町の対応について伺いたい。

- 1、「障がい者の地域生活と就労を考える親の会」の思いを実現するために、町が全面的な支援するのは、地域福祉計画及び障がい者計画にてらしても必然的なことだと考えるが。
- 2、親の会では、建物が決まれば、来春に通所事業所の開設を計画しているが、旧看護師宿舎跡の活用を始めとした、建物の確保に対する町の全面的な支援が必要と考えるが。
- 3、富良野市の通所作業所に通所している人の中には、自ら公共交通機関を利用して通所できない人もいるが、町独自の交通手段の確保と支援体制が必要と考えるが。

2 町内循環バスの運営について
(町長)

高齢化により、病院、買い物などの交通手段の確保は高齢者の方にとって、切実な要求となっているが、今後の対応について伺いたい。

3 病児・病後児保育について
(町長)

子育て支援体制の充実のためにも、乳幼児の病児、病後児保育体制を確保することは重要だと考えるが、どのように検討されているのか伺いたい。

<p>4 住宅の新築や改修時の補助制度について (町長)</p>	<p>各自治体では、定住化促進のために、景気の刺激策の一環として新築・改修時における補助制度を設けているところがある。あるいは、低炭素社会を目指すために、太陽光発電設置時に補助制度を設けるなどしている。町においては今年より住宅の耐震化促進を図るため、宅耐震改修工事費用の助成制度を設けているが、現状では申請がない状況にあり、助成制度の見直しが必要だと考え、次の項目について今後の対応について伺いたい。</p> <p>1、耐震改修制度の周知方法の改善と住宅のリフォーム事業と抱き合せた補助制度のあり方の改善が必要では。</p> <p>2、町の低炭素社会の推進のためにも、太陽光発電設置時に補助制度を設けては。</p>
<p>5 予算編成について (町長)</p>	<p>景気が低迷する中で、地域の観光と農業、商業や住民が協力しあう循環型の町づくりが必要と考えるがその考えは、さらに来年度の予算編成にあたり、どのような重点政策を柱とした町づくりを考えているのか伺いたい。また、住民参加型の町政を促進するためには、予算の査定、ヒアリングの過程においてもその情報住民に公開することが必要だと考えるが、対応について伺いたい。</p>
<p>6 雇用の確保について (町長)</p>	<p>雇用不安の中で町が誘致した内田工業が来年の3月をもって閉鎖されると聞いているが、次の項目について伺いたい。</p> <p>1、来年の3月で事業閉鎖とされているが、その現状はどうか。</p> <p>2、企業閉鎖後の職員の雇用が確保は重要だと考えるが、企業として雇用の確保にどのように対処しているのか伺いたい。</p> <p>3、町としても必要であれば、雇用の相談窓口の設置などの対応が必要だと考えるが。</p>
<p>7 渡部 洋己 1 上富良野町においても「事業仕分け」を考えては (町長)</p> <p>2 「高齢者事業団」の今後の運営について (町長)</p>	<p>先の衆院選での政権交代により、初めての「事業仕分け」が行われ、国民より高い評価が得られた。我が町の財政も一般会計では10年前と比較すると、20億円近く減額しており、事業の見直しも考慮する必要があるのでは。我が町においても「事業仕分け」的な考えは。</p> <p>我が町では、現在、定年退職後の生き甲斐対策として「高齢者事業団」があり、公園の管理や農作業等に幅広く活躍され、高く評価されているのが実態である。</p> <p>しかし、高齢者という年齢的な問題もあり、自衛隊退職者が加入できないこともある。今後において、「高齢者事業団」の年齢の間口を少し広げるよう要請を行い、充実した「高齢者事業団」の運営をお願いしては。</p>